

No. 1019

灼熱の87時間

—日航機乗っ取り事件—

If you move, I'll kill you. (動くとき殺すぞ)

7月21日未明、日本航空ボーイング・747はアムステルダム上空でハイジャックされた。乗っ取られたジャンボ機はベルシャ湾岸、アラブ首長国連邦・ドバイ空港に強制着陸させられ、人質を乗せたまま3日間クギづけにされた。日航朝田社長や佐藤運輸政務次官らは現地へ飛び、犯人の説得にかかった。しかし、犯人側は我々は「本部の指令を待っている」と繰り返す、具体的な要求を一切こぼさず。いたづらに時間は過ぎ家族たちはその安否を気づかされた。24日、西独ジュッセルドルフからの指令？ が伝えられた。

「……もし機内の乗客を殺すなら、すぐに殺せ。もし、そうしないなら人道的立場からすぐに乗客を解放せよ。君たちの政治的意図を達成するためには他の方法があるのではないか……」

このあと犯人はドバイ空港を飛び立ち、途中シリア、ダマスカス空港で給油したあと、リビアのベンガジ空港に着陸した。ここで、乗客たちは87時間の監禁から解放された。乗客たちが、500メートルほど機体から離れた時、ジャンボ機は犯人の手で爆破された。

*犯行は計画通り実行された、というものの最後まで条件提示はなく、余りにも多くのナゾが秘められた乗っ取り事件である。

漁場を返せ

—東京湾漁民の訴え—

出荷停止になった食えない魚が冷凍庫に眠る。次第に広がる東京湾の漁場汚染に漁民は休漁へと追いやられた。神奈川県横須賀東部漁港。金沢沖横須賀沖でとれた。フッコ、ススギ、マコガレイから高濃度の水銀が検出された。神奈川県漁連と汚染企業との話し合いが進められている中で、漁に出れない漁師は日がな一日、網をつくろうでもなくただまんぜんとここで時を過す。被害は千葉県側にも及んだ。東京湾から汚染魚発見のニュースは、漁民に大きな打撃を与えた。そして休漁を余儀なくされた。富津市大堀漁港。船だまりにひっそりと漁船はつながれたままだ。貝とのりの町、袖ヶ浦町奈良輪。汐干狩でも有名だったこの海岸も、客足はメッキリ減った。貝も売れず、客も来ない。*若いものは漁師をやめていたが50も過ぎてはね。漁師が一番いいんだが……。巨大な工場群がだんだんと進出し、そのうちここも埋立てられ、工場に変わってしまうという。

7月21日、たまりかねた千葉県漁連は、市原コンビナートで水銀PCBを使用している4社に対して抗議行動を行った。*海は工場のもので我々のものでもない皆んなのものだ。*補償金さえもらえば言いいんではない。きれいな海を返して欲しい。*漁業という生産の根底的破壊だ。漁民の怒りはどれだけ工場側に届いたのか。

ただうなずき、頭を下げるだけの会社側。7月24日、海上封鎖も辞さないという決意をみせようと、漁民は450隻の漁船を動員して、汚染工場に対し海上デモを繰りひろげた。この日、神奈川県は、東京湾の漁場汚染の再調査をはじめた。網にかかるこれらの魚が水銀PCBにどれほど汚染されているのか。この結果によっては、東京湾沿岸漁民が漁に出れる日はもう来ないかも知れない。その時、企業の補償だけで片づけられるのだろうか。